

ドキュメントが無いプロジェクトでどうレビューする？ 関係者全員でモブワークして成果物を作った実例

update 2021/10/22 JaSST Review '21

ウイングアーク 1 s t 株式会社
伊藤 潤平



WingArc1st
The Data Empowerment Company

自己紹介

- 伊藤 潤平(@jp_110)
- ウイングアーク 1 s t 株式会社
 - ソフトウェアプロセス & 品質改善部 マネージャー
- 社外活動
 - 品質管理学会員
 - Scrum Fest Niigata 実行委員会 代表
 - JaSST Niigata 実行委員
 - SigSQAメンバー
 - YouTube翻訳活動
 - Appendix A: What We've Learned Since Agile Testing - Janet Gregory and Lisa Crispin.
 - Five Key Challenges for Agile Testers tomorrow - Gojko Adzic
 - What's Testing Got to do with Quality? - Janet Gregory@RSGT2021
 - Quality Processes in an Agile Environment - Janet Gregory & Lisa Crispin
- ブログ
 - <https://medium.com/@sadonosake>
- 趣味
 - 日本酒 (新潟限定)
 - 筋トレ (健康志向)



01

背景

02

やりたいこと

03

モブワーク

04

認識共有と共通理解

05

合意形成が早い

06

一体感と同時に学び

07

まとめ

背景

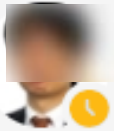
突然のリリース承認依頼

01

要件定義書もない、仕様書もない、
もちろん、テスト設計書もない。

そんなプロジェクトに入って製品をリリースした経験
はありますか？

全てはこのチャットから



2021/07/15 11:11 編集済み

お疲れ様です。なんかご無沙汰ですね。相変わらず忙しいですか？

さんから で作成しているアプリの出荷承認作業を手伝ってほしいって聞いてます？

ヒヤリング



開発チーム



QA

仕様書は？

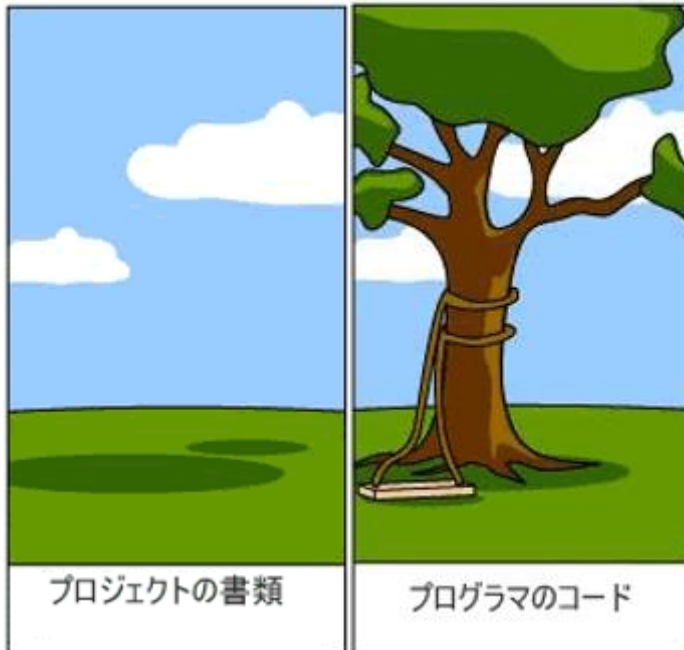
ない

テストケースは？

ない

どこまでテストしてる？

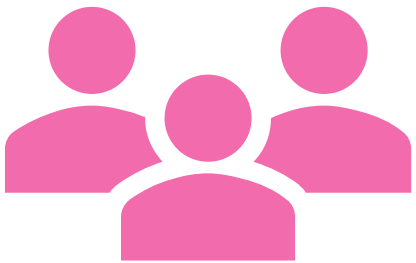
だいぶやってますよ



空中戦

アプリの機能、操作
細かい仕様

リリースできる品質か
わからない。
リスクは？

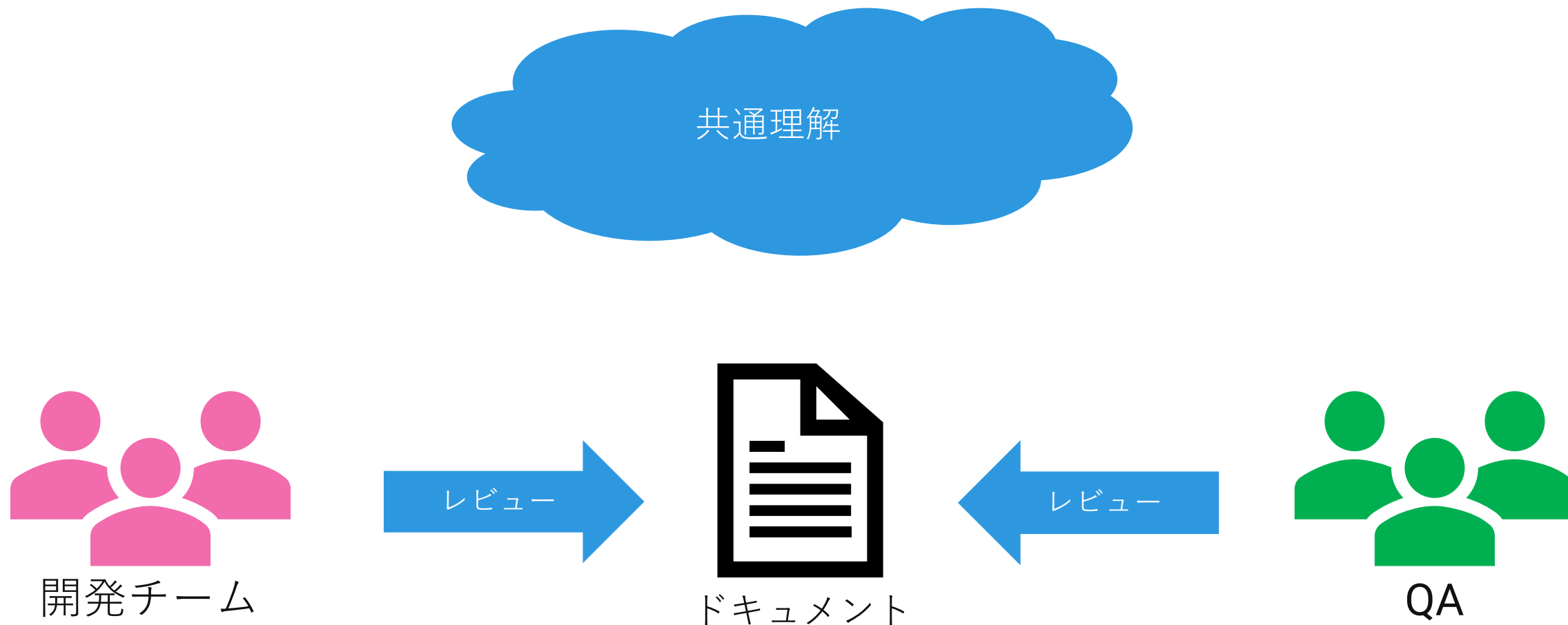


開発チーム



QA

チーム全員が気持ちよくリリースしたい

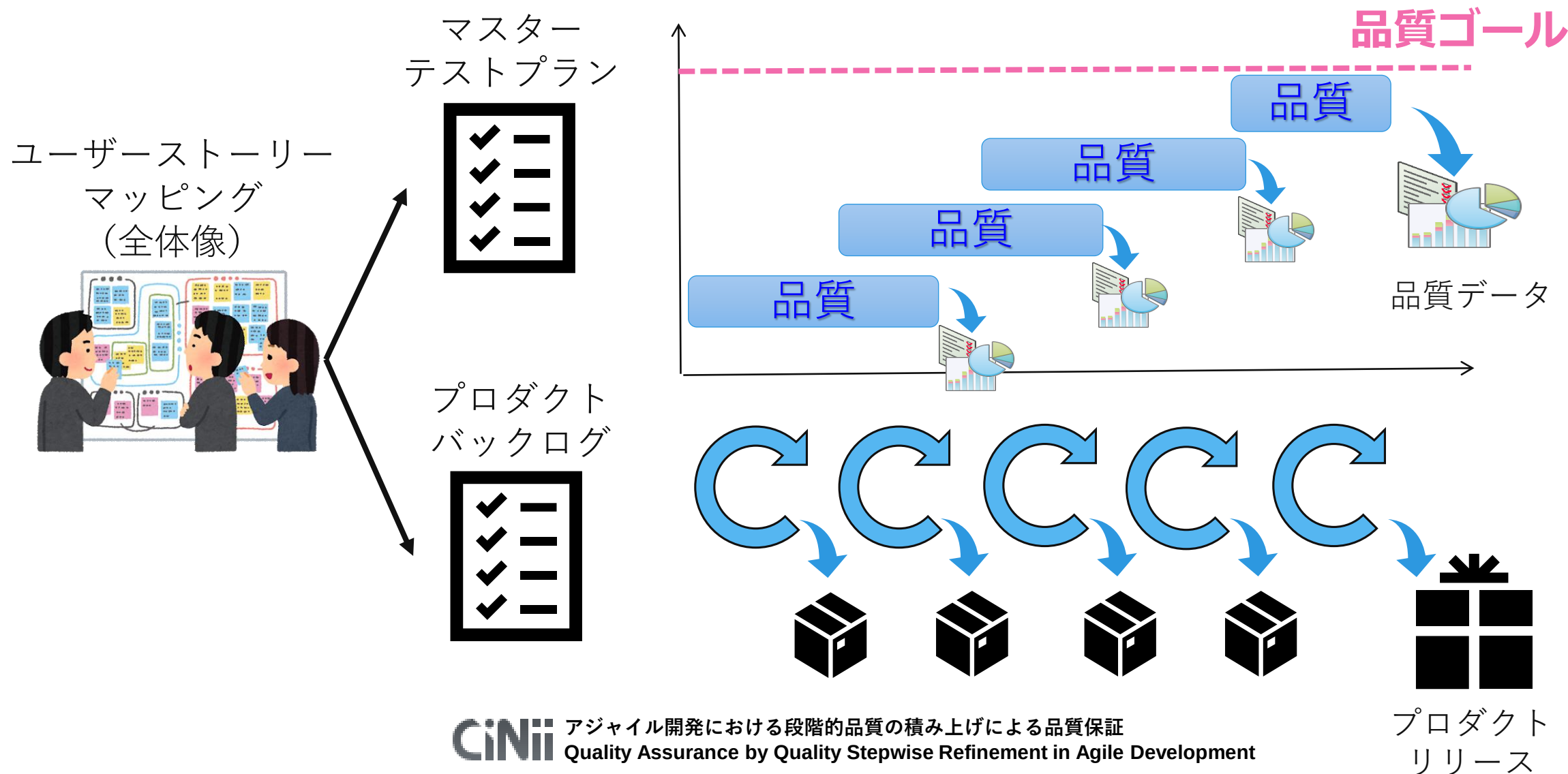


成果物を作りたい

無いなら作ろう！ユーザーストーリーマッピング

02

やりたいこと



成果物を作ろう！

成果物	現状	やりたいこ
要件定義	なし	リーンキャンバス
仕様	なし	ユーザーストーリーマッピング
テスト	なし（やってるらしい）	テスト観点表



全員でモブワークして
成果物を作ろう！

モブワーク

全員でモブワークしよう！

03

計画（リリースまで1か月）

1周目 リーンキャンバス作成

2周目 ユーザーストーリーマッピング作成

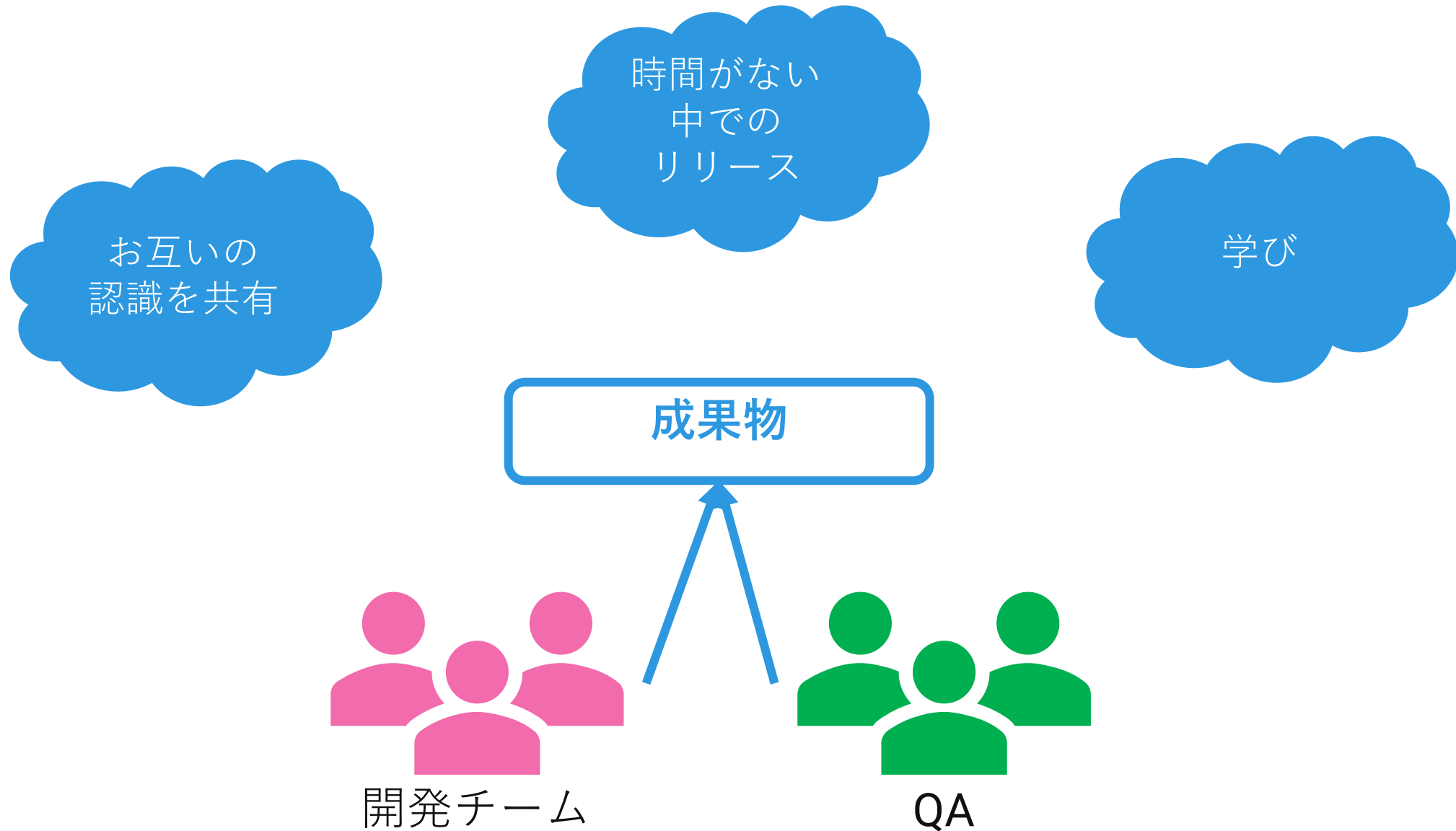
3周目 テスト観点表作成

4周目 リリースに対して必要なものの整理

役割と成果物



モブワークに期待する効果



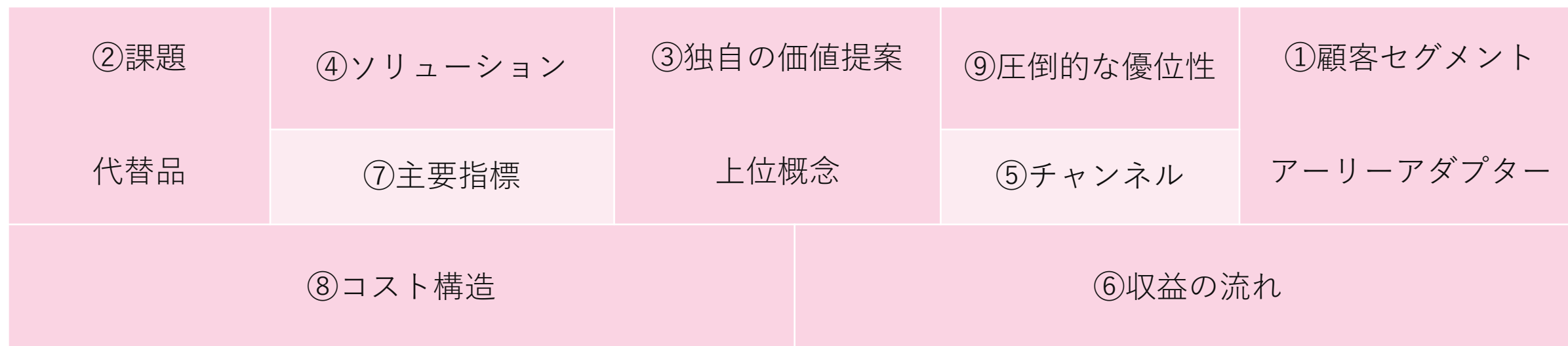
認識共有と共通理解

全員で理解しよう！

04

リーンキャンバスを使って目的を知る

リーンキャンバスとは9つの項目からビジネスモデルをまとめるフレームワーク



課題

成果を上げる
目標を達成したい

ソリューション

アプリを使用して
目標達成する

独自の価値提案

圧倒的な優位性

顧客セグメント

既存の選択肢

主要指標

電車でとなり
の人が
アプリを
使ってた

今後
要定量化

上位概念

チャンネル

口コミ

SNS

アーリーアダプター

コスト構造

マーケの広告

収益の流れ

今後
要検討

目的の集約と新しい発見



難しかったですね。

はい。
でも今までチームの中で
会話してた内容が、1つの
キャンバスにまとめられた。

新しい発見はありましたか？

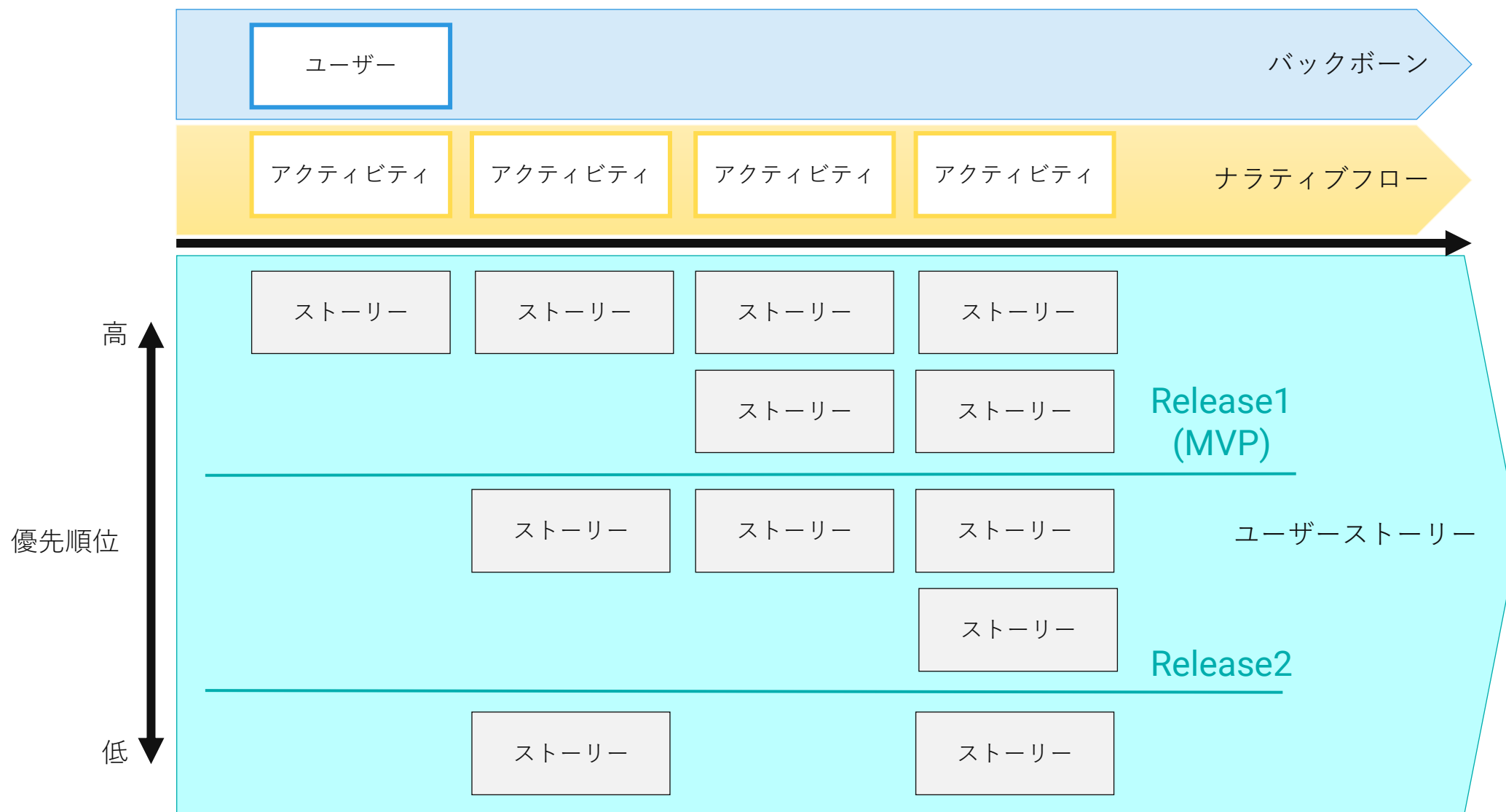
大事にしたい指標が出た。

主要指標

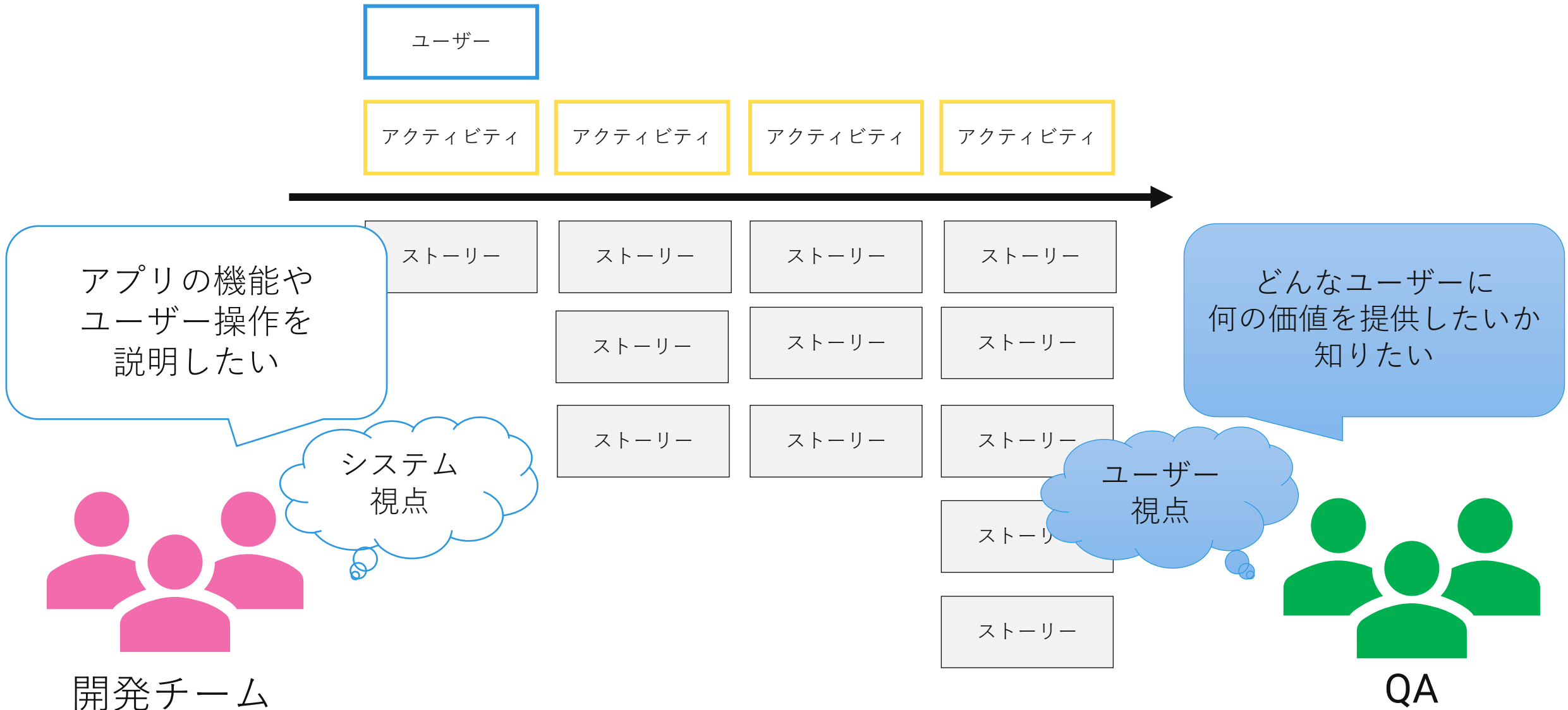
電車でとなり
の人が
アプリを
使ってた



ユーザーストーリーマッピングを使って共通認識を得る



様々な視点からの意見の取り込みが可能



インストール

インストール

ログイン

プロフィールの初期設定

プロフィールの初期設定

目標設定

MVP（初期設定系） | 8

ユーザーはアプリがインストールできる

+

ストーリーのフォーマット
「WHOがWHATする」

一旦「WHY」は抜く

ユーザーはSSOでログインできる

+

ユーザーはプロフィールを入力できる

+

ユーザーはプロフィールを入力できる

+

ユーザーはプロフィールを入力できる

ユーザーはプロフィールを入力できる

ユーザーはプロフィールを入力できる

+

Release 2（利用し始める系） | 14

+

+

+

+

ユーザーはプロフィールを入力できる

ユーザーはプロフィールを入力できる

お互いの認識を共有



開発チーム

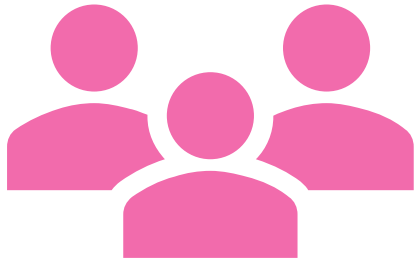
QAが気にしている、提供する価値と、リスクの意味がなんとなくわかってきた。

アプリのアーキテクチャと、機能の仕様がわかってきた。

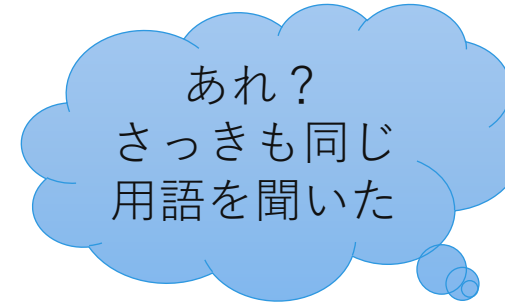


QA

用語集の作成からバグをその場で修正



開発チーム



もしかして、用語がバラバラ？

確かに人によって認識が違うかも

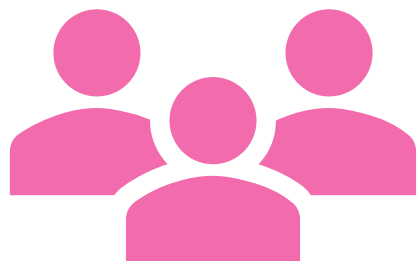
用語集を作って整理しましょう。

ということは、この辺はUIバグだ。



QA

隠し機能の発見



開発チーム

ユーザー操作ミスを防ぐために、
確認ダイアログがあった方が良いでしょう。

実は隠し機能があって。。。。

え？

ストーリーに盛り込みましょう。



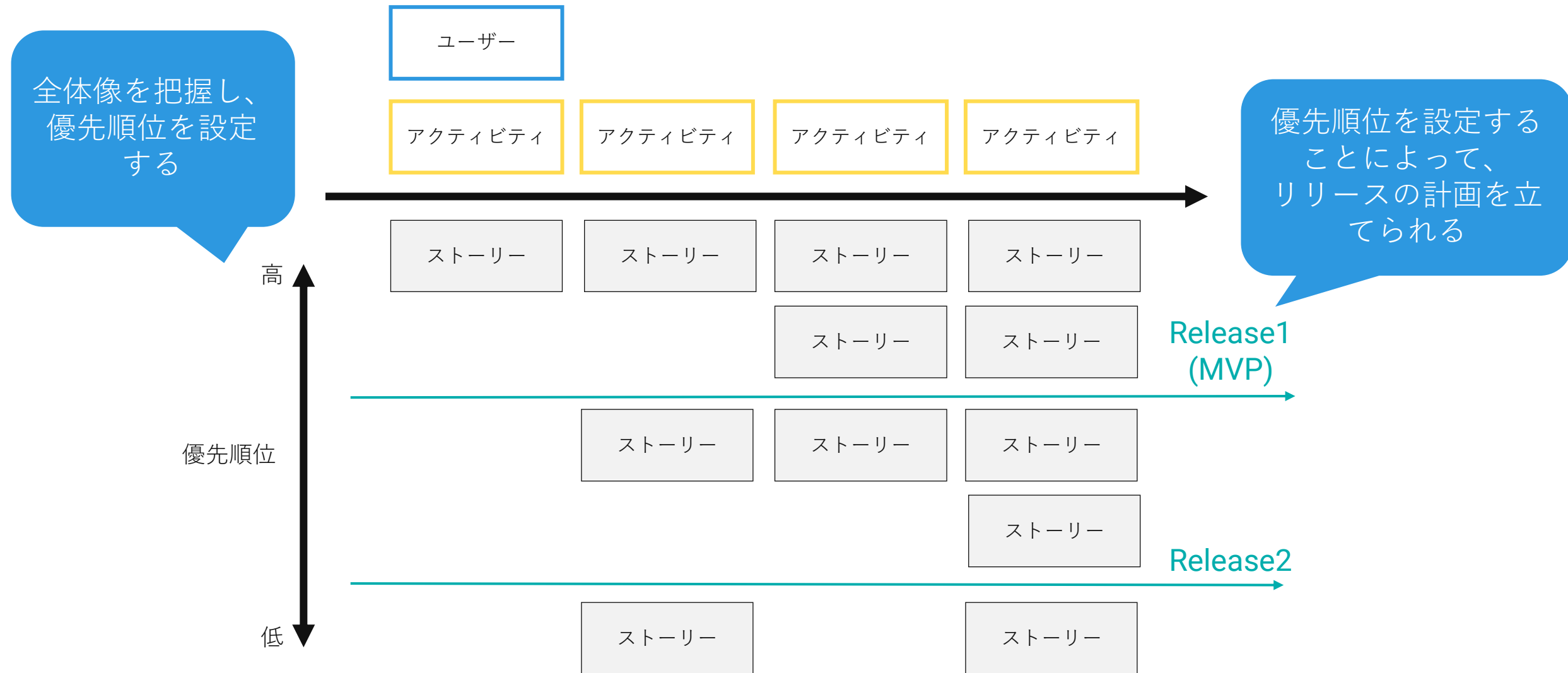
QA

合意形成が早い

リリースまでに確保すべき品質を決めよう！

05

優先順位を設定し、リリース計画を立てる



テスト観点表を作ってどこまでテストしているかを知る

ユーザーはSSOでログインできる

AC

- ・ユーザーはAppleIDでログインできる
- ・ユーザーはTwitterでログインできる
- ・ユーザーはFacebookでログインできる

テスト観点表に反映

ストーリーに
AC（受け入れ条件）を設定

テスト観点		テストケース	チェックポイント
	ログイン		
	ログインできる	SSO	指定した方法でログインが可能であること
		AppleID	
		Twitter	
3.0	設定(アプリ内)	Facebook	
3.1	プロフィール編集	必須	項目に入力文字が表示されること
		ユーザ名(ニックネーム)	それぞれの項目に、プロフィールを登録できること
		生年月日	
		未入力、日付以外の文字	
		性別	
		未入力	
		非必須	
		プロフィール画像を変更	
		国名	
		都道府県	

リリースの範囲をその場で合意形成



開発チーム

今回のリリースはここまでの機能のテストでいいですか？

はい、OKです。

利用ユーザーが増えた時の性能面のテストはリリース後？

次回リリースまでにテストでOKです。

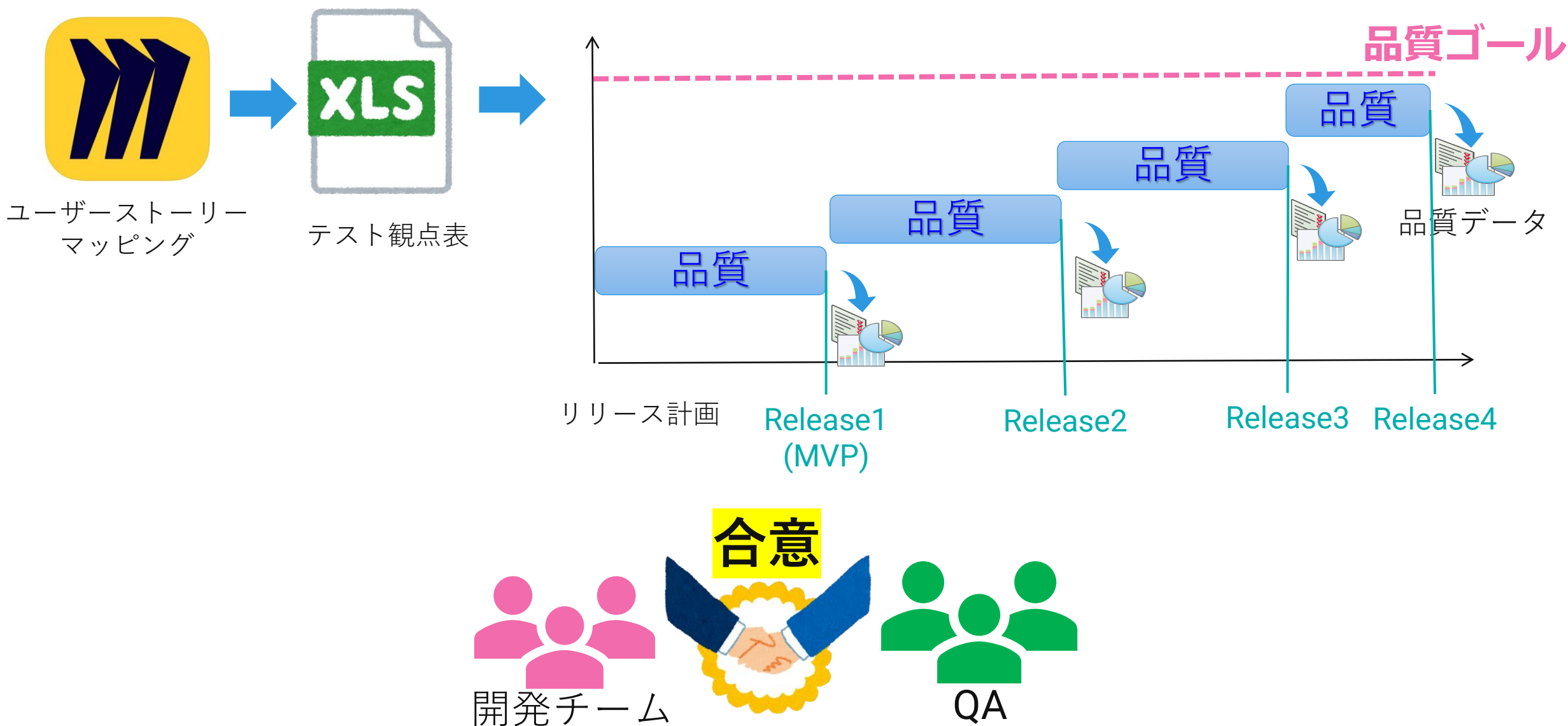
次回リリースはいつ頃を予定してますか？

来月計画します。



QA

リリース計画と確保すべき品質を合意する

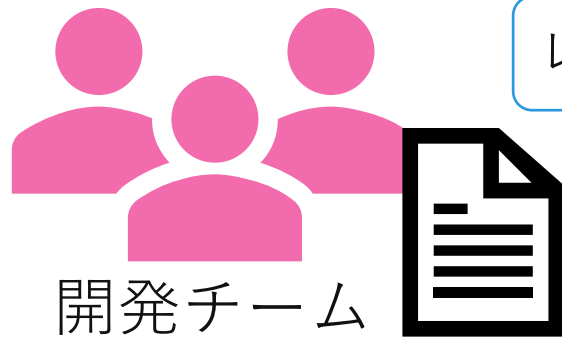


一体感の高まり、と同時に学びになる

やっときまーす！

06

通常のレビュープロセス



レビューをお願いします。

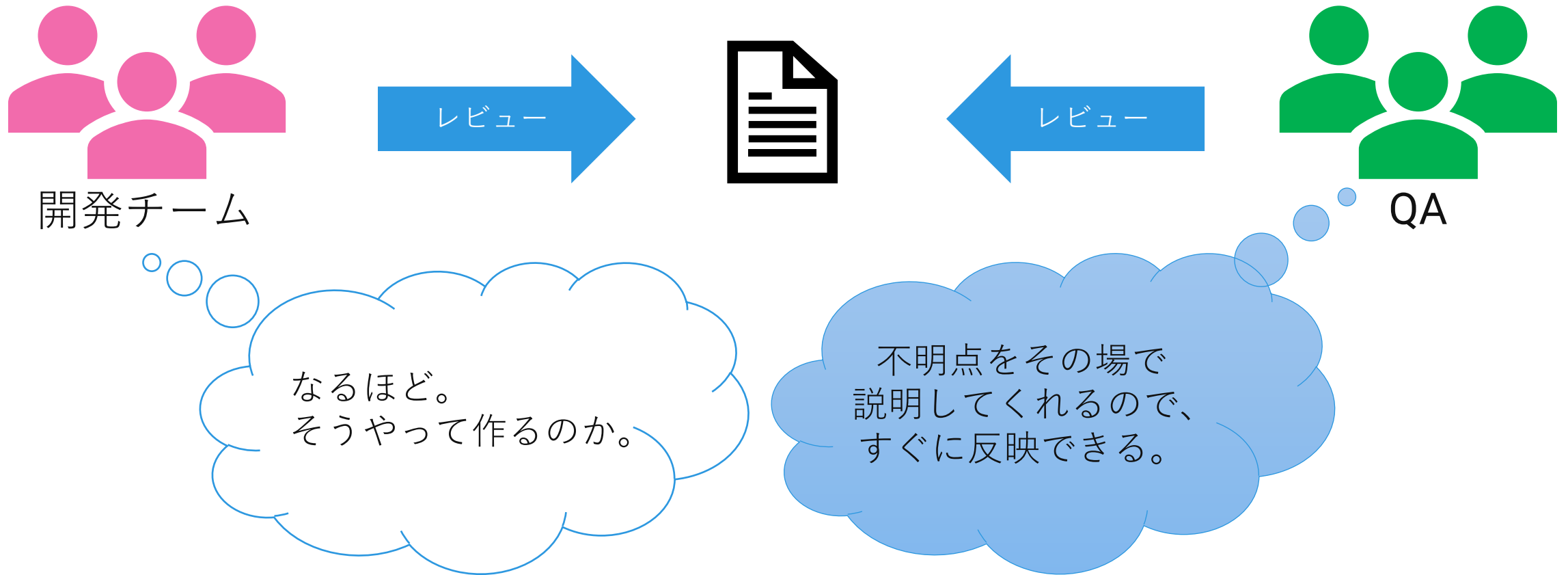
質問、指摘、フィードバック



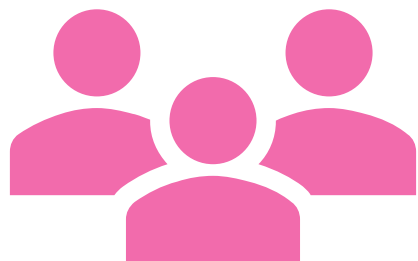
時間ないのに...
次回までに期待する
成果物ができるか不安

これじゃテスト
できないよ...

モブワークで一体感が高まる



ドキュメントも製品の仕様も一緒に作る



開発チーム

この機能心配ですね？

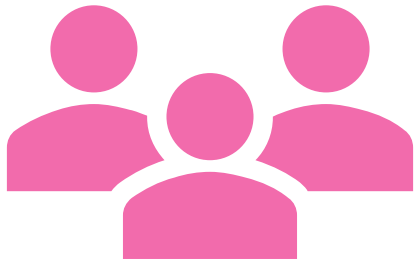
そうですね。
リスクの可能性があるので
書いておきましょう。

次期バージョンのエンハンスに
入れたいですね。

そうですね。
こんな仕様だとどうですか？



QA



開発チーム

次回ミーティングに
持ち越しますか？

だいたい分かったんで、
次回までに自分の宿題として
やっときまーす。

おー。すげー。



QA

まとめと今後

効果を認識し、継続的に改善し続けよう！

07

全員で成果物を作成した



一体感が生まれ、お互いに学びになった



リーンキャンバス



大事にしたい指標を
共有できた



ユーザーストーリーマッピング



それぞれの視点からの情報を
共有でき、共通の理解を得た



テスト観点表



時間の無い中で、リリース計
画の合意形成が即座にできた

モブワークを継続し、改善し続ける

5周目

タスクをバックログ化

6周目

リスクや要望をバックログ化

7周目

テストの自動化戦略

8周目

パイプライン構築

WingArc1ST

The Data
Empowerment
Company

